

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和元年 8 月 26 日

三田市議会議長 厚地 弘行 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	新政みらい	代表者	田中一良
		議員名	北本節代
派遣者氏名	厚地弘行 田中一良 北本節代 佐貫尚子 中田哲		
視 察 先	愛知県稲沢市		
調査事項 (調査目的)	稲沢市あじさいまつりについて		
日 時	令和元年 7 月 24 日 (水) 13:00~15:00		
視察先対応者	稲沢市 経済環境部 商工観光課 課長 足立 和繁 経済環境部 商工観光課 主幹 横井 利幸 経済環境部 商工観光課 宗宮 千晶		
添付資料	・あじさいまつりパンフレット ・稲沢観光ガイドマップ ・稲沢市観光ガイドブック ・稲沢市議会の概要第 ・28回あじさいまつり事業計画(案) ・28回あじさいまつり実行委員会収支(案) ・稲沢あじさいまつり実行委員会規約 ・稲沢市市勢要覧		

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	令和元年 7 月 24 日 (水) 13 : 00 ~ 15 : 00
視察先	愛知県稲沢市
調査事項	稲沢市あじさいまつりについて
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>【調査結果の概要】</p> <p>平成 4 年に性海寺から市に対して庭園の無償借地の提案があり、これをきっかけに市は性海寺を歴史公園に指定。</p> <p>⇒災害などにも強いとされるあじさいを植え、観光名所として育てる計画を策定。</p> <p>年々来場者が増え『あじさいまつり』に発展。</p> <p>来場者は市内外から、まつり開催期間中に総勢 5 万 4 千人。</p> <p>このうち市内からの来場者は 26 % と、市外からの観光客の呼び込みに成功している。</p> <p>来場者が増えるたびに近隣住民との交通トラブルが増えているが、駅からのシャトルバスなどを出すなどの対策を講じてきている。</p> <p>写真コンテストを行い、最優秀作品は次年度のパンフレットやポスターに掲載するなど参加者のモチベーションを高める工夫を凝らしている。</p> <p>こども向け、ファミリー向けのイベントなどをメイン会場で開催するも、来場者の多くは 70 歳代以上の高齢者となっている。</p> <p>また、来場者は年々増加傾向にあるものの、駐車場を無料開放する上に、入場料なども取っておらず、財政面では市からの補助金に頼っているところが大きいという説明があった。</p>	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

## 【所見】

稲沢市あじさいまつり

6月1日から中旬まで開催される。

歴史公園を観光にPRしたいとの思いから、国や県指定の貴重な文化財が多く残されている「性海寺」を無償で提供し、平成4年にオープン、今年28回目となっている。

期間中に沿道を彩る満開のあじさいを見学できなかったのは残念。

市からの補助金により、実行委員会で運営されている。

キャンペーンレディ3名によるPRと名古屋市放送のテレビ放映、パンフレットの配布、フェイスブック掲載等々PRの影響は大きい。

入場者は、約5万人で市外の方、そして70歳以上の方々が多く、文化財を見学しながら、色彩やかなあじさいも楽しめる、苗木の販売もあることが強みである。入場料、駐車料が無料というのも高齢者にとってはありがたいと思うが、財政面で考えると工夫も必要かと感じる。

(ちなみに「かさや」のあじさい園入場料は、大人400円、小人200円です)

課題は、公園清掃はシルバー、あじさい管理は、地元のあじさいクラブが担っている。しかし、あじさいの老朽化で土壌改良や苗木の植え替えの必要もあり、高齢化に伴う管理体制の見直しが必要とのこと。

三田市に於いても市花「さつき」については、「さつきまつり」を開催しているが作品の展示と表象があるだけ。福祉センターの展示だけに終わらず、庁舎、各市民センター等々でも展示することで市民に親しんでもらえるのではないかと。

キャンペーンレディを観光協会が募集し「あじさいまつり」だけでなく多方面に亘って、市をPRする機会があるとのこと。三田市に於いても、実現可能なPR作戦だと思う。

約50年ほど前になるが「ミス三田」コンテストがあり、ミス三田、準ミス三田が選ばれ、三田のPRに一役かっていた時代があったことを思い出した。

(

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和元年 8月26日

三田市議会議長 厚地 弘行 様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	新政みらい	代表者	田中一良
		議員名	北本節代
派遣者氏名	厚地弘行 田中一良 北本節代 佐貫尚子 中田哲		
視 察 先	愛知県一宮市		
調査事項 (調査目的)	自動運転の取り組みについて		
日 時	令和元年 7月 25日 (木) 10時 00分～11時 30分		
視察先対応者	一宮市 議会事務局 次 長 山田均 総合政策部 政策課 課長補佐 野村秀樹 総合政策部 政策課 主 査 野末朋代		
添付資料	・自動運転の取り組みについて ・一宮市市勢要覧 :一宮市議会概要 ・議会だより138 ・一宮市観光ガイドマップ		

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	令和元年7月25日(木) 10時00分～11時30分
	視察先 愛知県一宮市
	調査事項 自動運転の取り組みについて
	<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>【調査結果の概要】</p> <p>★自動運転とは</p> <p>高精度3次元地図と自動運転ソフトウェアにより自車位置や周囲環境を認識し、自動運転の『目』であるカメラやセンサー等を使って障害物を検知する仕組み。</p> <p>○社会的効果⇒1. 利用者の利便性向上。2. 交通事故減少し安全性高まる。</p> <p>3. 最適な走行による交通流の円滑化、渋滞緩和。</p> <p>○経済的効果⇒1. 不要の加減速の低減、渋滞緩和による燃費向上やCO2削減。</p> <p>2. 自動走行車を活用した新たなビジネスモデルの創出。</p> <p>★愛知県の動き</p> <p>現在の法律では運転者が乗車しない車両が行動を走ることが想定されていない。</p> <p>⇒『近未来技術実証特区』への提案 規制を緩和し、自動走行車両の実証可能に。</p> <p>⇒国家戦略特区に区域指定。</p> <p>第一段階 運転席にドライバーを座らせた状態での実験。(遠隔監視、遠隔操作)</p> <p>第二段階 無人走行車に対する社会的受容性の評価等。(周囲の理解が不可欠)</p> <p>第三段階 無人走行車を活用した新旅客、配送サービスの検証。</p> <p>技術的には、ほぼ遠隔操作なしで目的地まで到着できるところまで来ているが、細かな運転技術や、緊急停止した際の復旧作業など、遠隔監視員による遠隔操作が当面の間は、必要となるという説明があった。</p>

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

# 【所見】

## 自動運転の取り組みについて

基本的な動作は全て自動運転で時速30kmで走行。ネットワークセンターの一室に遠隔監視・操作拠点があり、必要な場合に遠隔操作を行う仕組みである。一人の人が複数台の操作ができることは良い。

社会的効果や経済的効果が見られるものの、運転の実現に向けては、自動運転に対する理解向上等社会的受容性の高まりが重要である。

自動運転の仕組みやその必要性などを職員向け勉強会や小学生とその保護者対象に参加型学習会を開催するなどの取り組みと、モニター調査、アンケート調査の実施もされ、実証実験についてのお知らせは全戸配布

実証実験の市民乗車モニターを20名募集したところ、170名応募あり感心の高さが伺える。

運転席に人が乗っていない事で、不安に感じるが、本庄地域の様な公共交通不便地域の支援や高齢者支援等、自宅から病院、デイサービス、買い物に利用できれば有効ではないかと思う。

三田市にも自動運転が実現した社会の到来と将来の運行の担い手になりうる交通事業者等の参画に期待するところです。

参考

### 自動運転実験車が事故

#### 愛知・豊田、乗用車と接触

26日午後2時20分ごろ、愛知県豊田市樹木町1の市道で、低速自動運転の実証実験に備え試運転をしていたカーポート型の車両と一般の乗用車が接触した。車両に4人、乗用車に1人が乗っ

ていたが、いずれもけがはなかった。

実施主体の豊田市などによると、現場は片側1車線の直線。車両はゴルフカートをベースに自動運転システムを搭載し、幅約1・3m、長さ約3・1mの



一般の乗用車と接触事故を起こした車両と同型の自動運転実験車(豊田市提供)

4人乗り。時速14キロほどで走行中、乗用車が車両を追い越そうとしたところ、誤作動を起こしたとみられ、車両が急に右側に動いた。

危険を察知した時などに手動で止める操作が必要のため、タクシー会社の運転手が車両の運転席に座っていた。運転手がブレーキを踏んだが、間に合わず接触した。市や豊田署が詳しい状況を調べている。

市によると、この車両は29日から、名鉄豊田市駅から豊田市美術館までの約1・3キロ間を一般の人を乗せて公道を走る実証実験に使う予定だった。市は事故を受け、原因が分かるまでは実験を中止するとしている。